

気温の上昇と共に、雪解けが進む2月の真野川。日陰の水面はまだ氷に覆われていて、その下を澄んだ水が滔々(とうとう)と流れていました。佐須行政区の前乗地区から大倉行政区のはやま湖に抜ける村道は、真野川溪谷に並走していて、厳冬期に出現する氷瀑(ひょうばく)や大きな氷柱(つらら)を車内からも望むことができます。ただし厳冬期に通行する際は、荒天を避け、車両も人も装備を怠りなく。

真野川に注ぐ水流の氷結が所々で見られます。10メートル以上の高さになる氷瀑もあり、アイスクライミングに訪れる登山愛好家の間では「真野川アイス」と呼ばれています。

